



札幌市立白楊幼稚園

学級便り

第4号

令和7年6月30日発行

6月に入りエルムの森公園へ散歩に行ってきました。公園までは手をつないで2列になり、横断歩道では手を挙げて車に気を付けて歩きました。幼稚園からエルムの森公園まで20分で行くことができ、しっかりと歩くことができるようになっていたことが分かりました。公園では、怖がらず思い切り遊具で遊び、その後は雑木林の中を探検し、子どもたちの大好きなダンゴムシをたくさん見付けながら「これ何?」と見たことのない虫を発見して喜んでいました。「今度はお弁当を持って来て、トイレも近いしここで食べようね。」と食べる場所を決めて帰ってきました。今度は弁当を持って行ってきます!

目的に向かって遊びを楽しんでいます!

札幌祭りがあった次の日、子どもたちの中でお化け屋敷に行ってきたことが話題になっていました。そこで、「どんなお化けがいたの?」と聞くと、「首の長いお化けがゆらゆらして、急に動いたりしていたよ。」「すごく怖いんだよ。」と話していました。それを聞いていた子どもたちは「お化け屋敷やろう!」「いいねえ。」「やるやる!」と話が盛り上がり、すぐにお化け屋敷作りが始まりました。

はじめにそれぞれがなりたいお化け、雪女、猫お化け、ゾンビ...などをイメージして、カラービニール袋や色画用紙などで作りました。迷路お化け屋敷を作ることになったので、段ボールなどいろいろ持ち込んでいるので、どんなイメージで作ろうとしているか、互いに分かるように時々、確認したり相談したりしながら進めました。

準備ができるとすぐにお客さんに来てもらい、脅かすことをたっぷり楽しみました。その日の帰り、「明日はどうする?」と聞いたところ、「今日は自分が怖いお化けになったけど、明日はお化け屋敷の中を怖くしたい!」ということになりました。次の日は、ろくろ首作りやお化けの絵を描くなど怖いお化け屋敷を作るという目的に向かって取り組んでいました。1週間続いたお化け屋敷は、ひよこ組やうさぎ組にも来てもらい、張り切って脅かす子どもたちでした。



ろくろ首を上手に動かしています。



栽培物に興味や関心をもち 生長の様子を見て楽しんでいきます

6月に入り、畑に栽培物を植えました。何を植えたいかは前に相談して決めていたので、今回はどの栽培物を植えて育てたいか決めました。すぐに決まるところもあれば、いろいろ迷い、気が付けば誰も育てる人がいないところもありました。すると「誰もいないから、ここにする。」と、変えてくれる場面もありました。それから、毎日のように白楊小学校の畑に水遣りに行っています。そして、雑草に気が付くと「大変だ〜。」と雑草抜きを頑張っています。自分が育てる栽培物を決めていますが、「ここ水遣りしていないね。」「あげよう〜!」と水遣りしていて、りす組みんなの栽培物であることを分かっている子どもたちです。そして、芽が出たり、花が咲いたりなど、変化に気が付き、みんなに知らせ、生長を楽しみにしています。



虫を見付けて観察しています。

家からスイカの種を持って来て畑に植えました!



水遣り・雑草抜きを頑張っています。



水遣りしていないところはないかな?

田植えをしました



あともう少し!



いよいよ、田植えの始まりです!

田植えをする前に田んぼの土を柔らかくトロトロにするため、足で土と水を混ぜ合わせる代掻きをしました。「気持ちイイ〜臭い〜」など感触を楽しんでいました。



田植えが終わり記念撮影

代掻きをしてトロトロになった田んぼに田植えをしました。3本の指で根っこ近くをもち植えるのですが、1つ1つみんな真剣に植えていました。生長を楽しみにしています。